ネットワークプロテクトのセットアップ/運用について

⚠注意

・ネットワークプロテクトで運用する際には、プロテクトサーバーを　別途ご用意ください。(強く推奨いたします)

・プロテクトサーバーを用意できない場合はSFシステムを使用しないパソコンをプロテクトサーバーとして使用することができますが、環境によりライセンス管理に問題が出る場合は、別途プロテクトサーバーをご用意ください。

・プロテクトサーバー機の IP アドレスを固定してください。クライアント機は、JSP ビューアでネットワークプロテクトの詳細設定でサーバー機の IP アドレスの指定をお勧めします(IP アドレスに関しましては、ネットワーク管理者にご確認下さい)

DVD¥インストール説明書

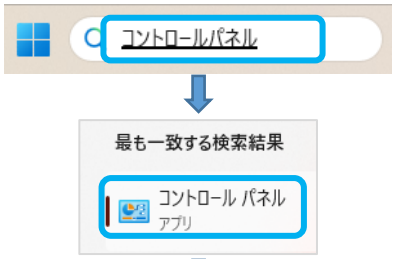
NetHasp ライセンスマネージャーのセットアップ方法

【ネットワークプロテクトを挿すパソコンの設定と、クライアントの設定方法】

＜ネットワークプロテクトを挿すパソコンの設定＞

新規 PC の場合、コントロールパネルの設定と Windows セキュリティの設定を行います。

Windows の検索欄に「コントロールパネル」と入力して、コントロールパネルをクリックしてください。



[表示方法]を【大きいアイコン】にして、「ユーザーアカウント」をクリックしてください。



「ユーザーアカウント制御設定の変更」をクリックしてください。



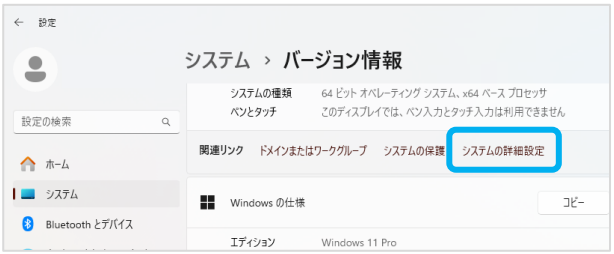
「通知しない」のところまで、バーを下ろし、OK をクリックします。



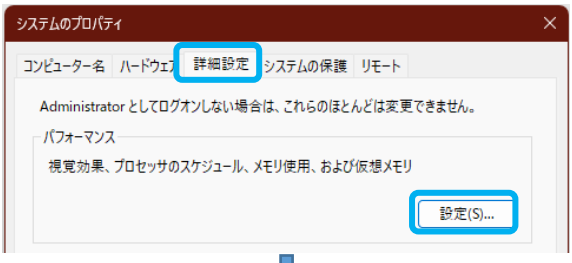
コントロールパネルの「システム」をクリックしてください。



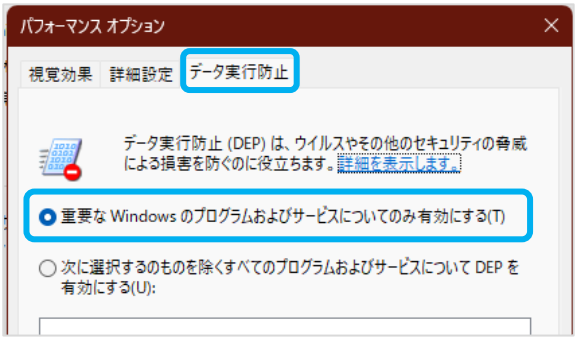
システムのバージョン情報で 「システムの詳細設定」をクリックしてください。



[詳細設定]のパフォーマンス「設定」をクリックしてください。



[データ実行防止]の「重要な～」を選択して OK をクリックしてください。



【Windows Defender リアルタイム保護を無効化】

Windows スタートボタン → 設定 → プライバシーとセキュリティ → Windows セキュリティ → ウイル

スと脅威の防止 → ウイルスと脅威の防止の設定、設定の管理 → リアルタイム保護　スイッチを「オフ」にします。



【スマートアプリコントロールをオフ】

Windows スタートボタン → 設定 → プライバシーとセキュリティ → Windows セキュリティ → アプリとブラウザーの制御 → スマート アプリ コントロールの設定 → スマート アプリ コントロールを「オフ」にします。



⚠ プロテクトは挿さずに抜いておいてください。

パソコンの DVD ドライブに当社 DVD をセットします。

↓

こちらの画面をクリックしてください。



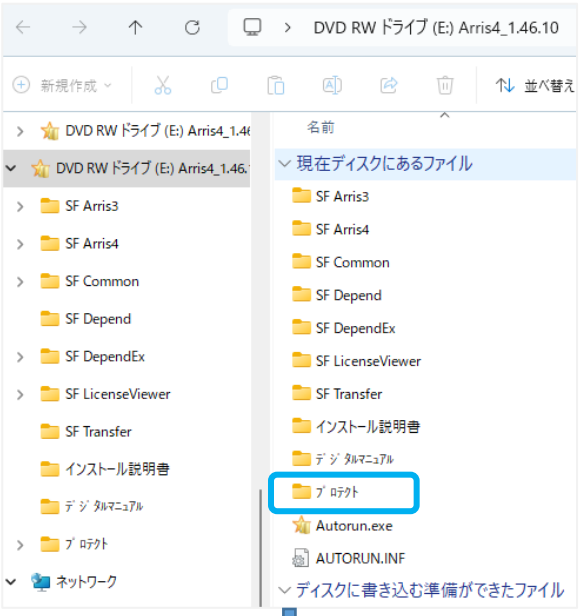
↓

「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックしてください。



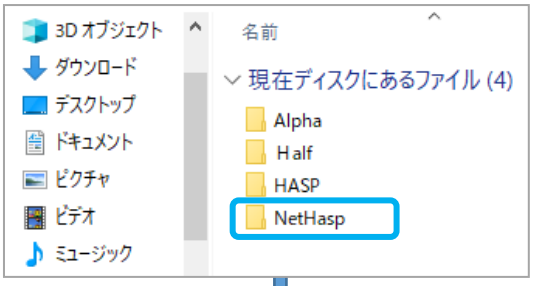
↓

「プロテクト」をダブルクリックしてください。



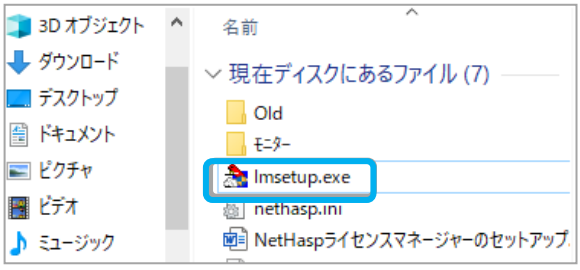
↓

「NETHasp」をダブルクリックしてください。



↓

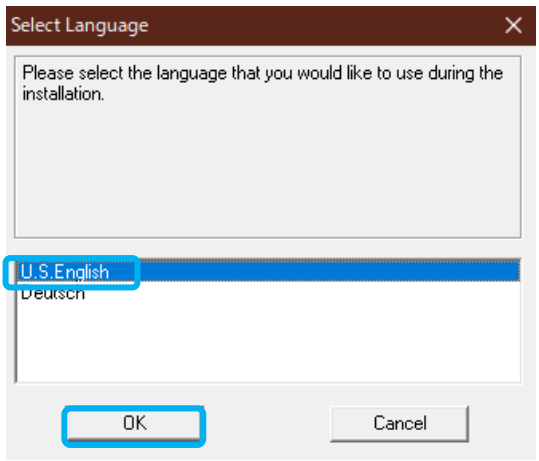
「lmsetup.exe」をダブルクリックしてください。



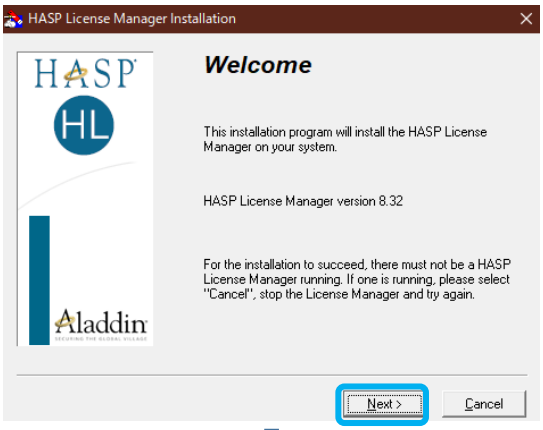
ライセンスマネージャーのセットアップ画面になります。

↓

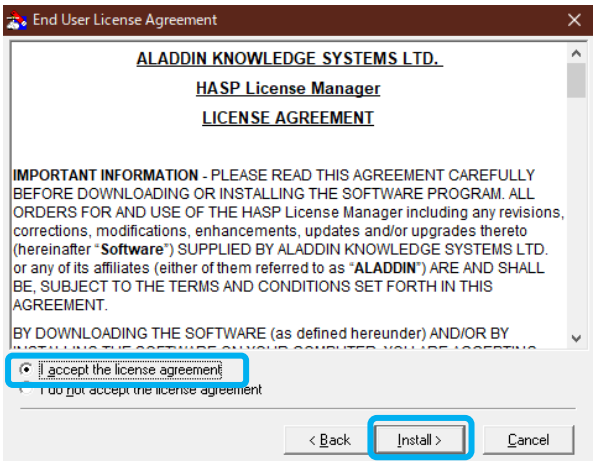
「U.S.English」を選んで OK をクリックしてください。



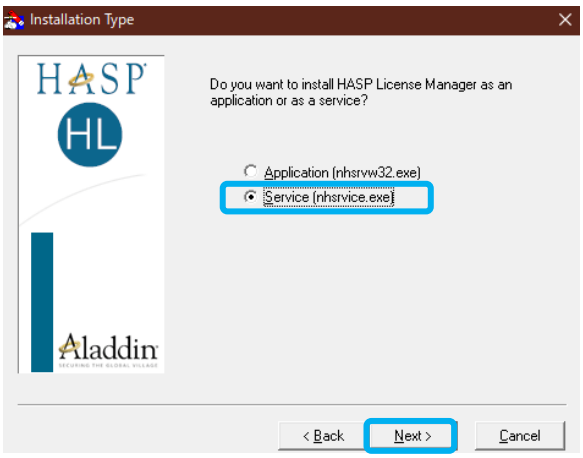
Next をクリックしてください。



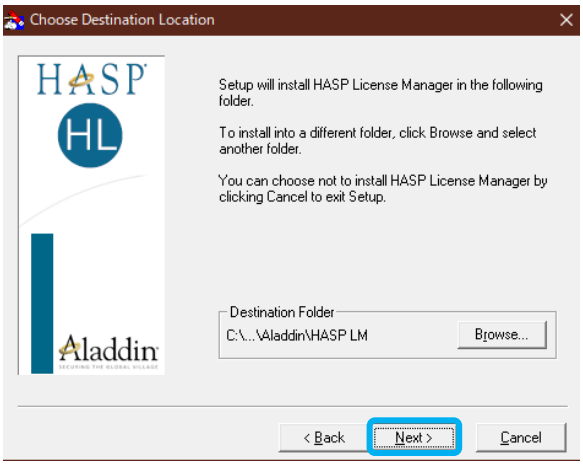
「I accept the license agreement」を選んで Install をクリックしてください。



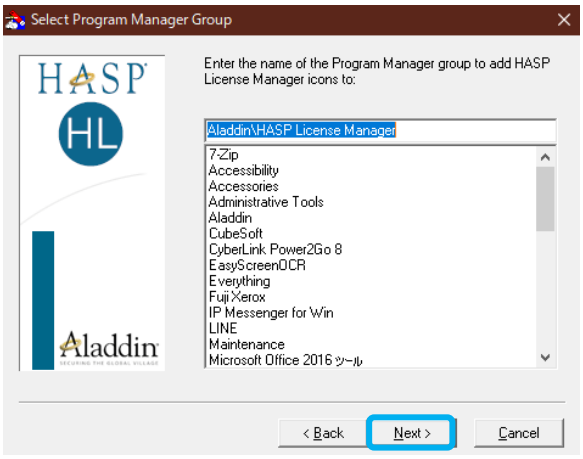
「Service」を選んで Next をクリックしてください。

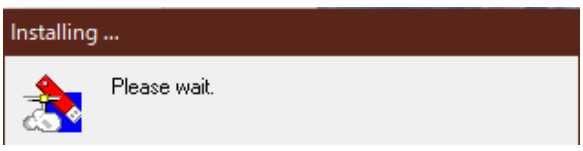


インストール先はそのままで、Next をクリックしてください。

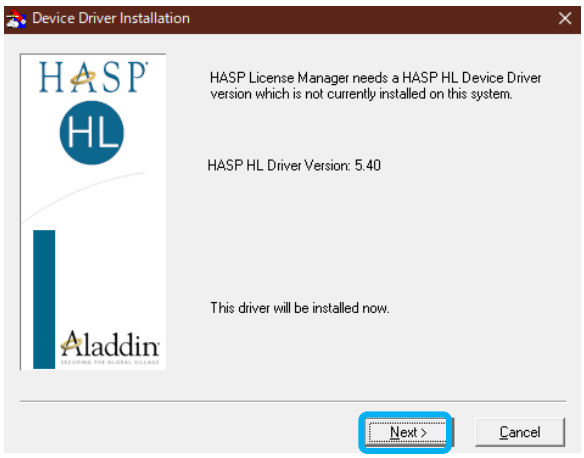


Next をクリックしてください。

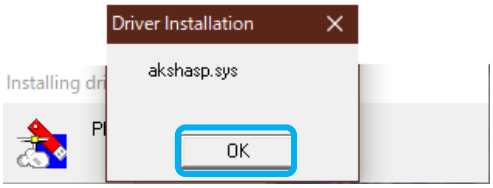




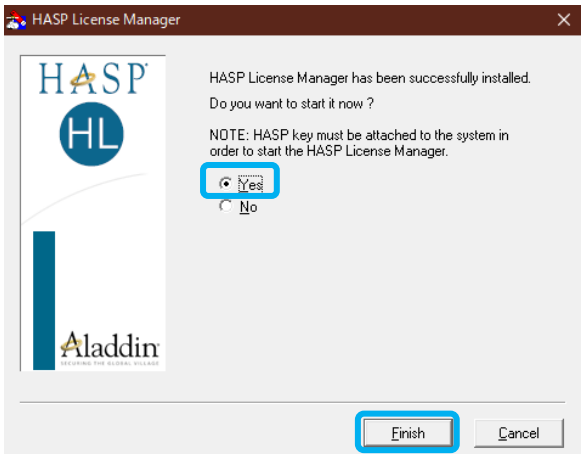
Next をクリックしてください。



OK をクリックしてください。



「Yes」を選んで Finish をクリックしてください。



パソコンを再起動します。

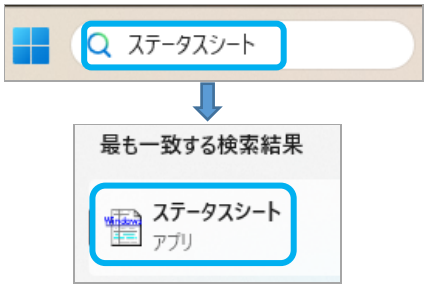
⚠ プロテクトを挿して下さい。

以上で、ネットワークプロテクトを挿すパソコンへのライセンスマネージャーのインストールは終了です。

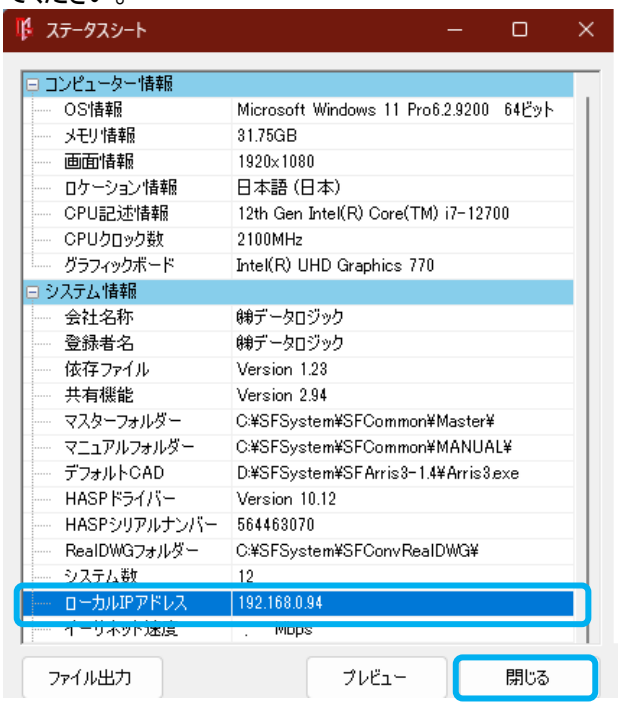
＜サーバーの IP アドレスの確認方法＞

クライアントにサーバーの IP アドレスを設定するための確認方法です。

ネットワークプロテクトを挿したパソコンで、Windows の検索欄に「ステータスシート」と入力して、ステータスシートをクリックしてください。

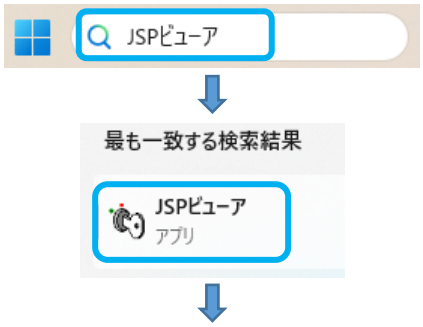


「ローカル IP アドレス」を確認し閉じるボタンをクリックしてください。



＜クライアントの設定＞

ネットワークプロテクト使用の設定をします。
Windows の検索欄に「JSP ビューア」と入力して、JSP ビューアをクリックしてください。



プロテクトユニット　登録内容一覧の画面が出ましたら、

① 「ネットワークのプロテクトを使用する」に☑を入れてください。

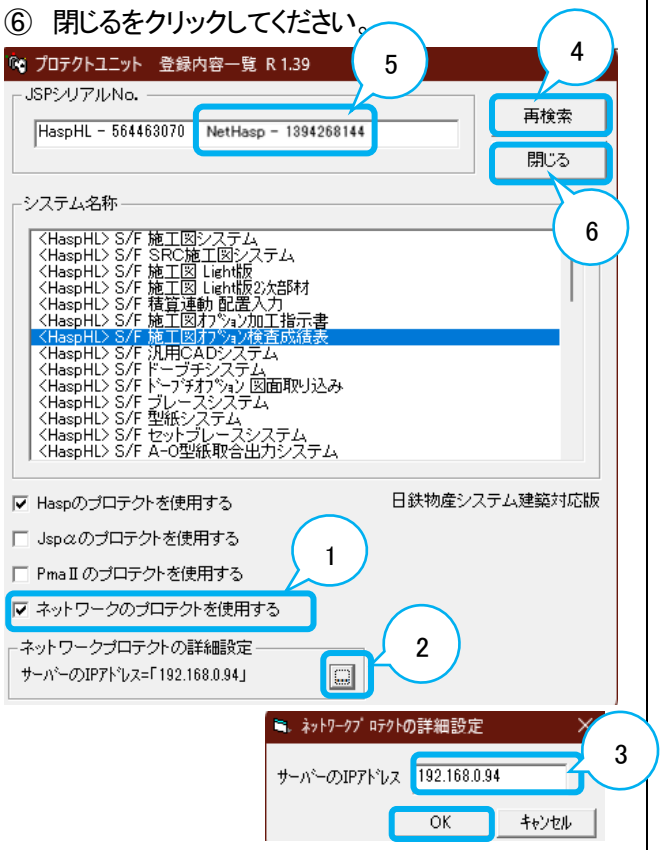
② ･･･をクリックしてください。

③ サーバーの IP アドレスを入力して OK をクリックしてください。

④ 再検索をクリックしてください。

⑤ NETHASP プロテクトが表示されます。

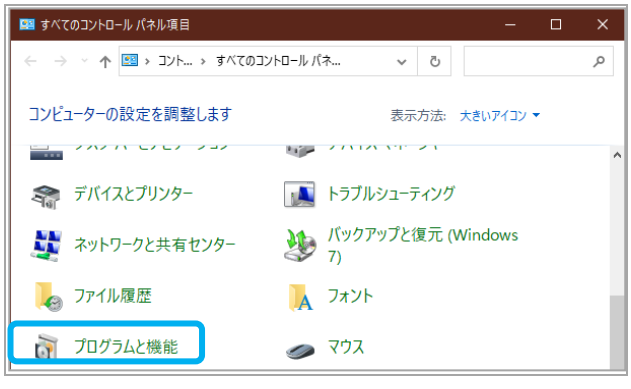
⑥ 閉じるをクリックしてください。



以上で、クライアントのネットワークプロテクトの設定は終了です。

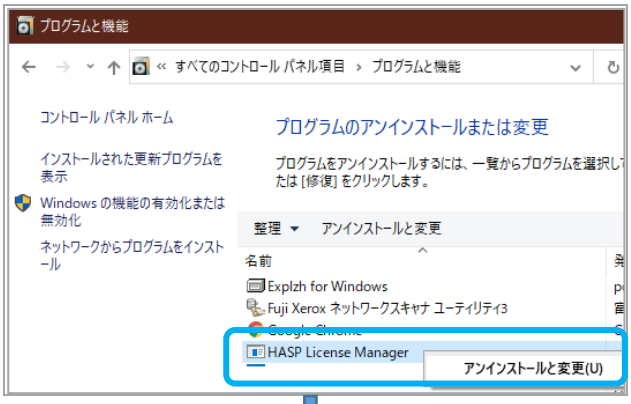
＜NetHASP ライセンスマネージャーのアンインストール方法＞

コントロールパネル ― プログラムと機能をクリックしてください。。

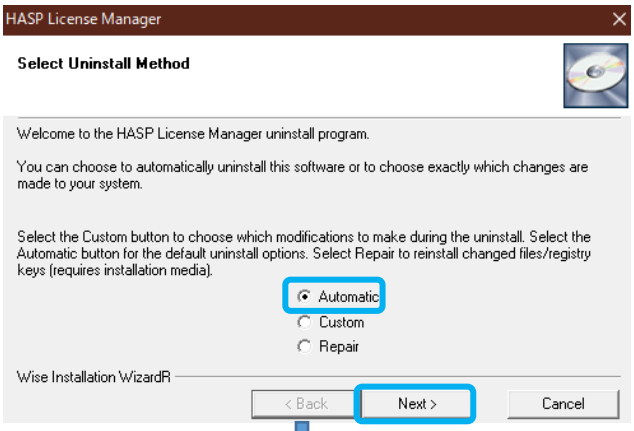


DVD¥インストール説明書

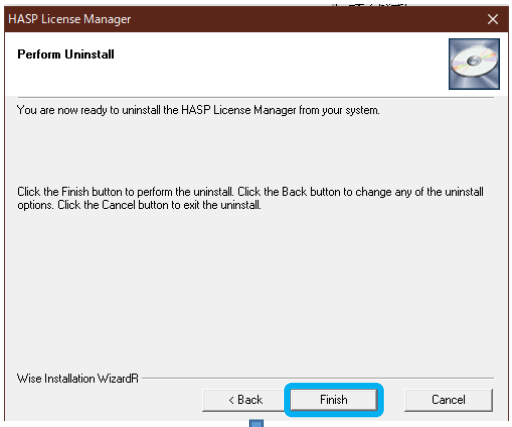
「HASPLicenseManager」を右クリックして、「アンインストールと変更」をクリックしてください。



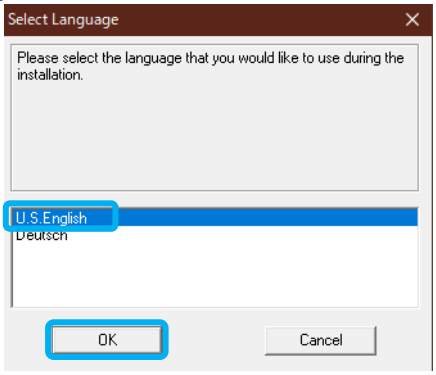
「Automatic」を選んで、Next をクリックしてください。



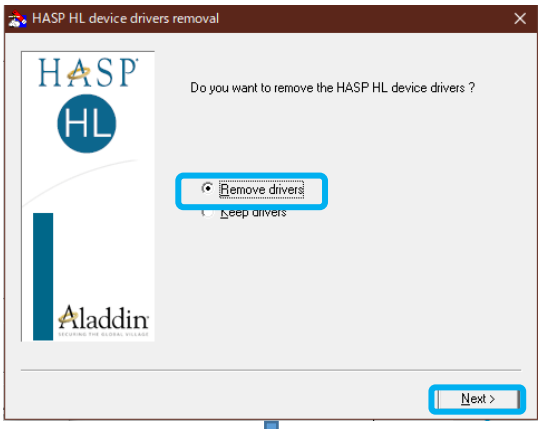
Finish をクリックしてください。



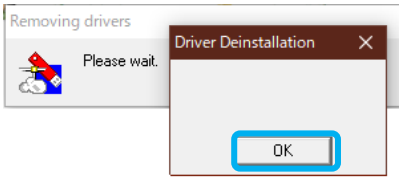
「U.S.English」を選んで OK をクリックしてください。



「Remove drivers」を選択して、「Next」をクリックしてください。



「OK」をクリックしてください。

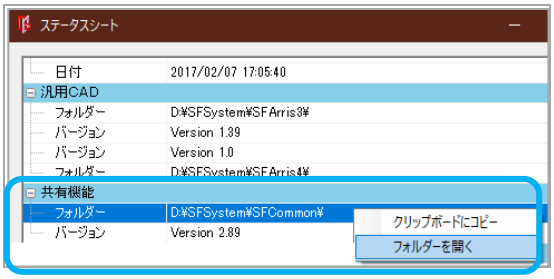


プロテクトを抜いて下さい。

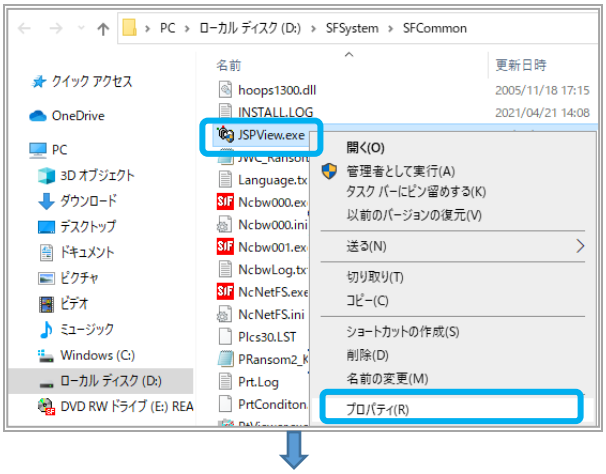
アンインストールは終了です。

＜ネットワークプロテクトで プロテクトエラー回避方法＞

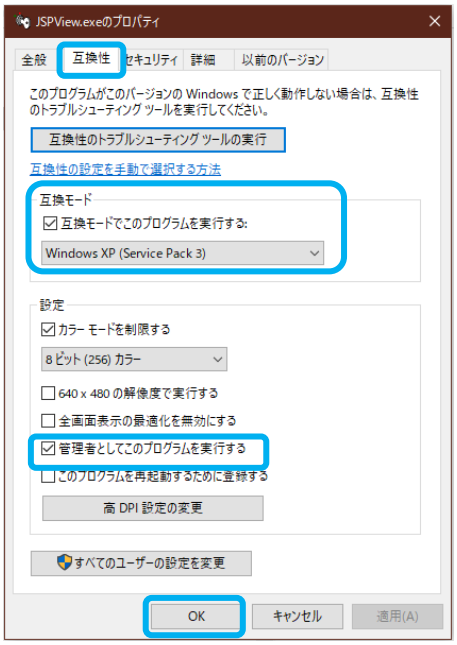
ステータスシート ― 共有機能 ― フォルダーを右クリックして、「フォルダーを開く」をクリックしてください。



「JSPView」を右クリックして、「プロパティ」をクリックしてください。



「互換性」のタブを開き、「互換モードでこのプログラムを実行する」に☑を入れ、WindowsXP（ServicePack3）を選択、「管理者としてこのプログラムを実行する」に☑を入れて OK してください。



＜TCP/UDP に関する補足事項＞

NetHASP ライセンスマネージャは、TCP と UDP の両方に、ポート「475」を使用します。

Windows ファイアウォールの構成設定するには、ネットワーク管理者にご相談ください。